

新発田市 令和3年度 第8回定例記者会見

1 日 時 令和3年11月5日(金)午前 11 時～

2 場 所 ヨリネスしばた501会議室

3 内 容

【市長発表項目】

- 灯油購入費助成金支給事業の実施
- 保育園等における市独自の感染症拡大予防策の実施
- しばた大物産展の開催
- 新発田^{うし}牛と日本酒のマリアージュキャンペーンの開催
- 新発田の美味しいお米コンテストの開催
- 新型コロナウイルスワクチン関連(配布資料なし)

【その他】

- 介護予防講演会
- 全市版おたがいさま講座
- ライフデザインセミナー with 相席スタート
- 開こう世界への扉 in イクネスしばた
- 国際理解講座「ミャンマーってどんな国？」
- デコレーションケーキを作ろう
- 第14回紫雲寺地区芸能音楽祭
- マイタウン・コンサート2021 in 新発田
- 新発田市所蔵美術作品展
- 企画展示「にいがた舞台のものがたり」

あいさつ

- コロナについては、市民の皆様のご協力をいただき、少し前に、お1人が感染というのがありました。が、ほぼゼロで推移しており、大変ありがたいと思っています。私事ですが、11月1日に子供の結婚式を挙げさせていただきました。ご案内を差し上げた頃は、緊急事態、あるいは新潟県の警報等が発出されている状況でしたので、果たして大丈夫かなという思いもありましたが、11月になれば、ワクチンも一定の効果が出るのではないかという思いでご案内を差し上げました。おかげさまで結婚式を挙げることができました。
- 市民から、「市長自らがそんな大宴会をやっているのか。」というような声もありました。私は「市長だからやりたいのです。結婚式を挙げたくても挙げられず1年も2年も待っている若者たちに、市長も挙げたのだ。私たちもやろうよ。そんな背中を押してあげるきっかけになればいいという思いでやらせていただきます。」と申し上げました。
- 選挙が終わりました。国民の判断なので私から特段コメントをすることは無いですが、非常にわかりづらかった気がします。政権選択選挙と声高に与党も野党も言っていました。衆議院というのは総選挙であり、今回に限らず常に政権選択選挙です。
- 与党と野党が互いに野合だと言っているようなこともありました。争点の一つに成長と分配というのがありましたが、与党の方は成長をさせてその果実を分配し、好循環に持っていくという言い方をしています。野党の方は、まず分配ありきで、分配し消費を高めて成長に繋げていくとしています。聞きようによっては、鶏が先か卵が先かであり、何かわかりづらいなという印象を受けました。そして、どちらも疲弊した経済に対し、財政出動、経済対策を選挙後にやると同じことを言っています。国民から見れば選択に苦勞した選挙だったのではないかという感想です。
- 岸田さんが首班指名を受けるものと思いますし、岸田さんも数十兆円の経済対策を速やかに11月中に打ちたいということなので非常に期待しています。今までの補正で国から74兆円が発出され、私どもはコロナ対策ということで44億5,000万円を執行しました。生活困窮対策、弱者対策、経済対策など様々ですが、当市が打った第11弾までの経済対策で、国の交付金を17億4,000万円活用しました。しかしこれが、市民の皆さんに、あるいは経済に、刺激を与えているかというところ少し疑問に思います。17億4,000万円はコロナが全部飲み込んでしまったという印象を受けております。今、コロナが落ち着いてきましたので、これからの国の数十兆円の経済対策は、今度は真水になると思います。これまで第11弾までやったものより

も遥かに刺激、効果が出るのではないかと思います。

- 職員には、金額がはっきりしてから組立てをするのではなく、今のうちから設計図だけは作っておき、そこに金額が判明したときにバランスよく分けるように事務を進めなさいと指示をしているところです。

それでは、会見項目を説明いたします。

最初に、灯油購入費助成金支給事業の実施についてです。

- 灯油価格の上昇が顕著になっております。コロナによる経済への影響が続く中、また、感染防止のためにご自宅にいる時間が長くなっている中で、コロナ禍の影響を受けている世帯にとっては非常に厳しい冬を迎えなければなりません。
- 生活保護世帯をはじめ、生活困窮世帯、また、高齢者世帯、障がい者世帯、ひとり親世帯、子育て世帯の、コロナ禍の影響が大きい世帯を対象として、灯油購入費助成金 5,000 円を支給し、皆様を激励するとともに、生活安定の一助としたいと考えております。
- 当市といたしましては平成 19 年度、20 年度にも助成を行ってありますが、それ以来の実施であり、今回はコロナ禍ということもありますので、支給対象を当時よりも広げ、およそ 7,000 世帯への支給を見込んでおります。
- 必要な予算は 12 月定例会に補正予算として上程したいと考えており、まだ議会のご承認はいただいておりますが、生活に困っている方たちにスピード感を持って支援の手を差し伸べる取組でありますので、是非ともお認めいただき、対象者に対しまして、年内から順次支給を進めてまいりたいと考えております。

次に、保育園等における市独自の感染症拡大予防策についてです。

- 新型コロナウイルス感染症の第 5 波が収束し、当市の新規感染者は、先日

1名発生しましたが、ほぼゼロが続いているところであります。しかし、感染症の流行が完全に収束したわけではなく、次の波がいつまた来るかは分かりません。

- 前回の会見におきまして、小学生に対する市独自のPCR検査の実施や、成人式における抗原検査の実施についてご紹介いたしましたが、今回は、感染症を早期に発見し、保育園や認定こども園等での集団感染を防ぐための、市独自の対策をお知らせいたします。
- 市内の保育園、認定こども園等に通う児童、約3,400人のうち、保護者が希望する児童に対して、新型コロナウイルス抗原検査キットをお配りいたします。
- 児童に発熱などの症状が出たときに、ご自宅でキットによる抗原検査を保護者に実施していただき、陽性判定となった場合は、直ちに医療機関を受診していただくことで、感染拡大を未然に防止したいものであります。
- ワクチンを接種できない子どもたちへも、きめ細やかな感染症対策を行うことで、保護者の皆様の不安を解消し、また、次にやってくるかもしれないコロナの波に備えたいと考えております。

次に、しばた大物産展の開催についてです。

- 新型コロナウイルス感染症の拡大により、多くのイベントが中止となり、この影響で、菓子事業者や食品加工事業者の皆様は大変厳しい状況となっております。
- 皆様の支援の一環として、11月12日（金）から、21日（日）までの10日間、市内スーパーマーケットや農産物直売所など、計15店舗において、お菓子や食品加工品、農産物などの、新発田の特産品を集め、「しばた大物産展」を開催いたします。また、この期間中の土曜日と日曜日、計4日間は、ヨリネスしばた札の辻広場で直売イベントも開催いたします。
- 一昨年まで、全国から物産品を集め、カルチャーセンターで実施しておりました「全国うまいもん横丁」については、今年も開催できませんでした。

が、今回の「しばた大物産展」は、お客さんを一か所に集中させず、適度に分散させつつ、市内の各店舗が一致団結して地元の特産品を売り込むという、ウィズコロナの中で進める新しい取組でもあります。

- 時短が終わり、緊急事態宣言が明けるなど徐々に人の動きが活性化してまいりましたが、まだ回復には至っておりません。是非この機会に各店舗や、札の辻広場に足を運んでいただき、“新発田のいいもの”、新発田の銘品、逸品を再発見していただきたいと思います。新発田が元気になれますよう皆様のご来店と購入によるご支援をお願いいたします。
- なお、大勢の来場を願っておりますが、札の辻広場の直売イベントについては、コロナ対策のガイドラインに沿った運営となりますので、健康観察シートの記入などをお願いいたします。また、新型コロナワクチン接種済の方には先着で来場特典をご用意しておりますので、ワクチンの接種済が証明できるものをご持参くださいますようお願いいたします。

次に、新発田^{うし}牛と日本酒のマリアージュキャンペーンの開催についてです。

- この春にブランド化され、皆様から評価をいただいております新発田^{うし}牛であります。新潟市内のホテルなど、県内での消費はもとより、東京・御徒町のスーパーでも取扱いが始まるなど、大変うれしい状況となっております。
- この勢いを加速させるために、また、新発田^{うし}牛の新たな魅力を見つけていただくために、日本酒とのマリアージュキャンペーンを開催いたします。牛肉とワインの相性はよく知られているところですが、日本酒もワインと同じ醸造酒であり、アルコール度数も似ております。香りや味わいの幅もワインに勝るとも劣らないほど非常に多彩で繊細であります。
- 新発田の良質なお米から作られる「新発田のお酒」と、その稲わらを食べて育つ「新発田^{うし}牛」ですので、相性の良さは間違いありません。
- 11月20日(土)から1か月間、市内の飲食店24店舗と、月岡温泉7旅館でメニューを提供いたします。新発田のお酒と新発田^{うし}牛料理をご注文していただいた方へはシールをお配りし、集めてご応募いただくと抽選で景品を

ご用意しております。また、11月22日(月)にはキャンペーンのPRイベントとして、新発田^{うし}牛生産者などによるトークセッションも予定しており、取材していただく記者の皆様にも新発田牛の試食があるとのことですので。この機会に是非ご賞味いただきたいと思います。

次に、新発田の美味しいお米コンテストの開催についてです。

○平成27年に第1回が開催され、今年で7回目となるコンテストですが、当市の大事な産業である農業、そして、新発田の食を支えていただいている生産者の皆様の努力を^{たた}称えようという趣旨で開催しているものであります。

○また、このコンテストをきっかけとして、美味しい新発田産米づくりに意欲的に取り組んでいただくことで、新発田産米の品質向上と、国内はもとより、海外をも視野に入れた販路拡大、消費拡大を目指すものでもあります。

○11月10日(水)、月岡温泉「白玉の湯 泉慶」を会場に最終審査を行います。90件のエントリーの中から、既に実施した測定機器による1次審査・2次審査を通過した上位10点について、審査員の試食を行い、「金賞米」、「銀賞米」、「銅賞米」を決定いたします。報道関係の皆さんにも試食していただくこととしていますので、ぜひ、新発田のコメのおいしさを実際に味わっていただきたいと思います。

最後に、新型コロナウイルスワクチン関連についてです。

○64歳以下のワクチン接種を希望される市民への対応については、集団接種の予約を10月末で終了し、11月で一区切りを終えることとなります。人口に対する1回目の接種率は88.30%、2回目は81.35%となっています。他市町村に比較すると、接種率向上スピードはやや欠けているものの、最終的な接種率は9割弱まで達するものと考えています。

○3回目の追加接種への対応については、今月中には、医療関係者や介護施

設関連などで先行接種をされた方に対し、接種券を発送させていただき、年内には接種に着手いたします。なお、65歳以上の一般市民の皆様には、概ね8か月後からの接種という国の指針を踏まえ、年明けに接種券を発送し、1月末から接種を開始出来るよう準備を進めています。

- 足元の悪い冬季間の接種となることから、高齢者の皆様の中には、3回目の接種を躊躇されている方もいらっしゃるとお聞きしています。新発田・北蒲原医師会の皆様はもとより、自治会をはじめ、保健自治会や民生委員など、各地域の関係者の皆様からも御協力をいただき、また、広報誌などでも取り上げながら、新型コロナウイルスへの絶大な効果が示されているワクチンの3回目接種に御理解をいただけるよう取り組みますとともに、何よりも安心・安全な追加接種を進めるため、今後も、気を引き締めて臨んでまいります。

本日お知らせする情報は以上になりますが、他にもお配りした資料のとおりイベントなどを予定しております。

報道各社の皆様におかれましては、一つでも多く記事に取り上げていただき、新発田市をご支援いただきますよう、よろしく願いいたします。